

慈しむということ

熊谷の描く作品に登場する人物と、それを見る者の距離は微妙である。

作品には、親しい者へ声をかけて視線と想いを交わす直前にある、

ほんの一瞬ぼんやりとその姿を眺めているような、微妙な「間」があわせて描かれる。

作品を見る者は、その「間」に反応し、本当に親しく思う相手だけに対する無意識の振る舞い、つまり、目から近づき、ところが先に触れているような感覚を、ふいに思い起こすことになる。

オレンジやうす紫の明るい光の表現は、対象との微妙な距離をやさしく満たし、

その丹念に重ねられた筆跡は、熊谷が自身の家族に注ぐ愛情のように果てしない。

熊本市現代美術館主任学芸員 富澤治子

作家略歴

熊谷有展(くまがえ・ありのぶ)

1966年 長崎県島原市に生まれる
1990年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業
1992年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻
油絵コース修了
武蔵野美術大学造形学部油絵学科研究室助手に就任
1996年 島原市立第一中学校美術科教諭に就任
1998年 長崎県立対馬高等学校美術科教諭に就任
2000年 崇城大学芸術学部美術学科洋画コース講師に就任
2004年 同大学助教授に就任
2009年 同大学教授に就任、現在に至る

【個展】

1995年 「レスポワール展」(スルガ台画廊、銀座)
1996年 「個展」(ロイヤルギャラリー、銀座/千葉三越)
「個展」(川徳、盛岡)(同2006年、2009年)
1998年 「個展」(日本橋三越本店)
2000年 「個展」(あかね画廊、銀座)
2001年 「個展」(KTNギャラリー、長崎)
2003年 「油彩画展」(阪急うめだ本店)(同2005年)
2008年 「洋画展」(福岡三越)
2010年 「熊谷有展 展」(福岡日動画廊)

【受賞歴】

1990年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科
卒業制作研究室賞受賞
1991年 第67回白日賞受賞(会友推挙)
1994年 第70回記念白日展内閣総理大臣賞受賞(会員推挙)
1995年 第27回日展にて特選受賞(会友推挙)
2003年 第35回日展にて特選受賞
2004年 第80回白日会展U賞受賞
島原市特別表彰
2007年 日展会員推挙
2008年 第40回日展 日展会員賞受賞
2009年 熊本県文化懇話会新人賞受賞

【団体展、グループ展(抜粋)】

1991年 第67回 白日展(以降毎年出品)
1994年 「現代美術 新進作家展」(網走市立美術館、北海道)
1995年 第27回 日展(以降毎年出品)
1996年 「ミュージズ新春4人展」(所沢市民文化センター、埼玉)
「ACT1996」(武蔵野美術大学美術資料図書館、東京)
「文化庁第30回現代美術選抜展」
(セラトピア土岐、岐阜/たけはら美術館、広島/
長崎県立美術館、長崎/徳島県立郷土文化会館、徳島/
リアスアーク美術館、宮城/秋田県立美術館、秋田)
2000年 「崇城大学芸術学部新設記念展 SOJO ART 展」
(熊本県立美術館、熊本)
2004年 「文化庁第38回現代美術選抜展」
(岩手県立美術館、岩手/高梁市歴史美術館、岡山/
大垣市サイトピアセンターアートギャラリー、岐阜)
2006年 「アルス・クマモト 熊本力の現在」
(熊本市現代美術館、熊本)

所属：日展会員 白日会会員

関連イベント

□アーティスト・トーク

2012年3月4日[日] 14:00～
ギャラリーⅢ 入場無料

□ワークショップ「家族の肖像」を描く

① 2012年3月25日[日] ② 2012年4月1日[日] 13:00～17:00
キッズファクトリー 参加無料

定員：各6組(保護者と子供のペア)、子供の対象年齢：小学校3年～高校生(要事前申込み)

講師：熊谷有展(出品作家)

アシスタント：崇城大学熊谷研究室の学生のみなさん

持ち物：水彩用具やクレパス、色鉛筆など使いたい画材。画用紙は美術館で用意します。

ワークショップ内容：

保護者と子供とでお互いを描きます。その参加者の姿を、熊谷研究室の学生たちが同時にその場で描きます。参加者の作品と学生の作品は、完成後当館で展示します。展示期間後に、学生が描いた作品は、参加者に無料でプレゼントします。

お問合せ：熊本市現代美術館 096-278-7500(代表)

